

香川県（平成26年度）

この記念貨幣は、「特別名勝 栗林公園^{りつりん}」をテーマに、発行されるものです。

記念貨幣の表面は、栗林公園の飛来峰から見た風景をデザインしています。

※栗林公園：四国で唯一、国の特別名勝に指定されており、四百年近い歴史を誇る江戸初期の回遊式大名庭園として、国際的にも評価が高い。1631年（寛永年間）頃に、讃岐国領主・生駒高俊公^{たかとし}によって南湖一帯が造園され、1642年（寛永19年）に入封した初代高松藩主・松平頼重公^{よりしげ}に引き継がれた後、1745年（延享2年）、5代藩主・頼恭公^{よりたか}の時に、「栗林荘」として完成した。以来歴代藩主が修築を重ね、明治維新に至るまで松平家11代の下屋敷として使用された。1875年（明治8年）から県立公園として一般公開され、1953年（昭和28年）に、文化財保護法による国の特別名勝に指定された。

埼玉県（平成26年度）

この記念貨幣は、「埼玉県が誇る歴史と文化」をテーマに、発行されるものです。

記念貨幣の表面は、渋沢栄一と時の鐘（川越市）をデザインしています。

※渋沢栄一：渋沢栄一は1840（天保11）年2月13日、現在の埼玉県深谷市血洗島に生まれ、第一国立銀行を拠点に、約500にのぼる株式会社の創設・育成に力を尽くし、福祉や教育など約600にのぼる社会公共事業への支援並びに民間外交に尽力した。1931（昭和6）年11月11日没。享年91歳。

※時の鐘：川越市（109.16 km²の面積と34万人を超える人口を有する都市）には「蔵造りの町並み」が今も残っており、平成11年12月には国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定され、平成19年1月には「美しい日本の歴史的風土100選」に選定された。川越のシンボル「時の鐘」は、平成8年に、環境庁主催の「残したい“日本の音風景100選”」に選ばれている。

石川県（平成26年度）

この記念貨幣は、「いしかわ百万石物語」をテーマに、発行されるものです。

記念貨幣の表面は、兼六園の徽軫灯籠^{ことじとうろう}と雪吊り^つをデザインしています。

※兼六園：江戸時代の代表的な大名庭園で、水戸偕楽園、岡山後楽園と並ぶ日本三名園の一つとして数えられている。1985年（昭和60年）には国の特別名勝に指定された。また、1997年（平成9年）から季節ごとに園内のライトアップが行われており、特に秋・冬の時期に行われるライトアップは暗闇に浮かび上がる金色の雪吊りがとても幻想的。

※徽軫灯籠：霞ヶ池の北岸に配された徽軫灯籠は、兼六園の象徴となっている。足が二股になっており、琴の糸を支える琴柱に似ていることから、その名が付いたと言われている。

※雪吊り：雪の重みから樹木を守る円錐形の雪吊りは、北陸の冬の風物詩として有名で、兼六園では毎年11月1日から庭師による雪吊り作業が実施される。